

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	卒業研究（Graduation Thesis）		
ナンバリングコード	L41206	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 総合レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	6	配当学年 / 開講期	4 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120699	クラス名	江越研究室
担当教員名	江越 充		
履修上の注意、 履修条件	江越研究室に配属された学生のみ履修することができます。 大学での学習の集大成です。人生の節目となる有意義な作品や研究を期待しています。		
教科書	適宜、参考図書を紹介します。		
参考文献及び指定図書	優良図書を随時紹介します。		
関連科目	それぞれの専門分野に関連する全科目		

○基本情報		
授業の目的	卒業研究は、大学4年間の集大成です。卒業研究では、自主的な取り組みはもちろんのことですが、能動的に問題意識をもち、発想し、それを発展させ、調査方法を発案し、調査し、調査結果を分析し、さらに分析結果から論理を構築し、成果としてまとめ上げ、第三者に対してわかりやすく発表するという、総合的な能力が問われます。これまでに受講したすべての講義や実習を基礎とし、各自がもっとも興味を持つ分野を研究している教員を指導教員として選び、その指導のもとで卒業論文または卒業設計を完成させます。	
授業の概要	指導内容は教員によって異なりますが、一般的に、はじめに卒業研究の概要の説明を受け、各自の取り組むテーマを設定し、設定したテーマについて予備研究を行い、指導教員のもとで、調査、観測、実験、解析、設計などの研究を自主的に行います。データの整理、検討を行い、あるいは設計図書をまとめ、卒業論文または卒業設計を期限までに仕上げて提出し、審査を受けます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①自分の専門分野をもち、問題意識と探究心を抱くことができる。		10点	10点
【知識・理解】	②各専門分野における主な既往の研究について把握している。		15点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	③研究成果を、第三者に対し分かりやすく発表することができる。		20点	20点
【思考・判断・創造】	④研究の目的に即した調査方法と分析方法を自ら学び、実行することができる。／⑤研究計画を立案し、それに即した研究を締め切りまでにまとめ上げることができる。		10点	5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
原則として毎回、講義の最後に授業内容について課題を出します。提出をもって出席に代えますので、課題が課されたら、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	卒業研究（Graduation Thesis） 江越 充	授業コード	L120699
学修内容					
1. ガイダンス、研究テーマの紹介					
所属する研究室でこれから卒業研究として取り組んでいく内容について話し合います。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
2. 研究テーマの選定					
各自の具体的な取り組みについて考え、選定します。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
3. 既往の研究の調査					
それぞれの分野におけるこれまでの著書、論文等報告、インターネット上の公開等について調査します。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
4. 研究計画の策定					
これからどのような取り組みをしていくのか、計画を立てます。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
5. 研究対象の選定					
研究テーマに沿って、具体的にどの範囲の何について研究するのかを決めます。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
6. 研究方法の決定					
研究対象をどのような方法で調査分析していくのかを立案します。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
7. 研究準備					
必要となる備品、道具などを準備します。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
8. 調査対象の準備					
研究対象を調査するための準備をします。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	卒業研究（Graduation Thesis） 江越 充	授業コード	L120699
学修内容					
9. 調査対象の確定 実験や調査の詳細を詰めていきます。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
10. プレ調査の準備 本調査の前に、事前調査をします。まず、そのための準備をします。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
11. プレ調査 事前調査を実施します。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
12. プレ調査結果の分析 調査結果をとりまとめ、分析します。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
13. プレ調査結果の考察 分析結果について考察します。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
14. プレ調査結果の検証 考察結果について検証します。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
15. 前半のまとめ 前期の取り組みを総括し、課題と問題点を明らかにします。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間
16. 本調査の準備 プレ調査を発展させた本調査のための準備をします。					
予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。				約2時間
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。				約2時間

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究（Graduation Thesis） 江越 充	授業コード	L120699
学修内容				
17. 本調査 本調査を実施します。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
18. 調査結果の分析 調査結果を取りまとめ、分析します。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
19. 調査結果の考察 分析結果について考察します。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
20. 研究成果の検証 考察結果について検証します。				
予習			ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	
復習			ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	
21. 図表の作成 これまでの研究成果をまとめるため、図表を作成します。				
予習			ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	
復習			ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	
22. 図表の完成 図表を検証し、完成させます。				
予習			ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	
復習			ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	
23. 論文の執筆 これまでの研究成果をまとめるため、本文を執筆します。				
予習			ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	
復習			ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	
24. 論文の完成 本文を検証し、完成させます。				
予習			ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	
復習			ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究（Graduation Thesis） 江越 充	授業コード	L120699
学修内容				
25. 梗概の執筆 これまでの研究成果をまとめるため、梗概を執筆します。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
26. 梗概の完成 梗概を検証し、完成させます。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
27. 発表会の準備 これまでの研究成果を発表するための準備をします。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
28. 発表会の練習 パワーポイント等を使用して、発表練習をします。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
29. 発表会 これまでの研究成果を発表します。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
30. 反省会・将来の展望 1年間の取り組みを総括し、今後の課題と問題点を明らかにします。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
31.				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
32.				
予習			約2時間	
復習			約2時間	